



夏期開園は 2020年11月3 日(火・祝)まで。開園時間は午前9:30～午後5:15 (入園は午後4:00 まで)。
10月16日(金)からは午前9:30～午後4:30 (入園は午後4:00 まで)。
体調が悪い方、発熱がある方は入園をご遠慮ください。

旭山動物園だより

発行所

旭川市旭山動物園
動物図書館
☎0166-36-1104



カバの子とアムールトラの子の 愛称が決まりました！

7/1～12に「もうじゅう館」と「かば館」で募集していたカバの子(メス・1/16生まれ)、アムールトラの3頭の子(オス2頭、メス1頭・2/1生まれ)の愛称が決まりました。
カバの子は「凧子(ナギコ)」に決定。『「ザブコ」、「ナミコ」といった歴代のカバ女子たちの愛称にちなんだもので、早く穏やかな「ベタ凧」(凧がそよとも吹かず海面に波がないこと)な毎日があるよう願いを込めて』ということで旭川市在住の佐々木早苗さんの愛称が採用されました。
アムールトラの子3頭は『「明」(メイ)・明るい未来、「新」(シン)・新しい時代、「カ」(リキ)・大きな力ということで、これからの動物園の未来を担ってくれる3頭という意味から』、という命名理由で、旭川市在住の尾形敦子さんの愛称が採用されました。
子どもたちは元気に成長しています。引き続き成長の様子をあたたく見守ってくださいね。



8/10、命名式をおこないました。
愛称が採用された方には、担当飼育スタッフとNPO法人旭山動物園くらぶ様より記念品が贈られました。アムールトラの子たちには238通、カバの子には581通の応募がありました。

ジェンツーペンギン・フラザグエノ・レッサーパンダの子も元気に成長しています！

2020年に入ってから1月にカバ、2月にアムールトラ、3月にはワオキツネザル、5月にはアビシニアコロブスと新しい命が続々と誕生しました。さらに、6/26にはジェンツーペンギン、6/29にはレッサーパンダ、7/27にはフラザグエノが生まれました。北海道産動物舎では、7/23にはオオコノハズクが自然孵化しました。



フラザグエノ

フラザグエノのあかちゃんは、親の毛の色とは全然違う全身濃い金色をしています。あかちゃんは母親の「モモ」にしっかりつかまってかたときも離れません。自分の体よりも長い尻尾を「モモ」に巻きつけている様子も観察できますよ。
※8/8撮影

6/29に生まれたレッサーパンダの子は2頭(オスとメス)。尻尾の縞模様が出てきました。母は「湊湊」、父は2月に長野市茶臼山動物園からきた「プーアル」です。子の放飼場デビューは秋になります。8/10からモニターを設置し、産箱の中の様子が見られるようになりました。子どもの今の姿が見られます。※レッサーパンダ舎の寝室で8/9撮影



旭山動物園では7年ぶりに自然孵化したジェンツーペンギン。いまでは親から離れて外放飼場に出てくことも多く、活動範囲が広がってきています。まだ頭の上の白いバンド模様はありませんし、背中やフリッパーの羽の色も灰色です。※8/8撮影



世の中いろいろなことが多くありますが、園内には幸せがいっぱいあります。
夏の旭山動物園の風物詩・夜の動物園も静かに終わり、市内小中学校の短い夏休みも終わりました。「ぜひ動物園に遊びに来てください」と言えないもどかしさのある昨今ですが、観察していただきたい動物たちの今だけの姿・行動もあります。今年生まれた子どもたちの愛らしさを間近に感じていただきたい気持ちでいっぱいです。お越しの際は、3密を避ける、手の消毒をする、大声を出さないなどのマナーを守って動物園を楽しんでください。

これからのイベント

※情報は8/17現在のものです

平日のみ「ペンギン」や「アザラシ」など、
屋外での「もぐもぐタイム」「なるほどガイド」を実施。
参加者同士距離を保ちながらガイドを楽しんでください。

8/31(月)まで めりえ展 正門そばの「いこいの広場」休憩所にて作品掲示
8/1(土)～9/30(水) 第52回旭川市旭山動物園
児童動物画コンクール 作品募集
対象は幼児および小学校児童 詳細は公式ホームページ参照



9/30(水)まで アイス&ソフトクリームめぐり スタンプラリー開催中！

園内にある7か所の対象店舗でアイスクリーム、ソフトクリームを食べながらスタンプを集めて応募する「アイス&ソフトクリームスタンプラリー」が9/30(水)まで開催中です。スタンプの数に応じて抽選で旭山動物園グッズなどの詰め合わせ+園内売店の食事・買い物券が当たります。応募はがき付きのスタンプラリー用紙は、園内売店、サポートセンターなどに設置してあります。

